

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
4	6	入居者に必要な物品購入の為に預かり金については、台帳の開示により報告している。遠方を家族に、はっきりとわかる形での報告が望ましい。	3ヶ月に1回、領収証をまとめて、家族様へお送りして利用者様が必要として購入された物を確認して頂く。	家族様へ紙面での説明を11月いっぱいに行う。家族様へ説明が終わり次第今までの領収証を渡す。それ以降は3ヶ月分まとめて郵送する。	12ヶ月
2	15	現在、食材購入は職員が行っているが、今後は以前の様に外出を兼ねて時には入居者も同行する機会を持つ取組みに期待したい。	天気が良い時、さくら棟とうめ棟の利用者様が交替で外出の機会を作っていく。	計画書を10月の勉強会で検討する。計画書は、偏った外出にならない事。地域の皆様と触れ合う機会を作る事。食事選びなどもして頂くこと。リスク管理を行う事。等全職員で取り組み、これを踏み台にふるさと訪問など検討していく。	12ヶ月
1	17	デイサービスの浴室は広く、庭が眺められ解放感もあり、グループホームでの入浴とは異なった楽しみが味わえるようである。誘導方法や言葉かけ、楽しみを伝えるポスターの掲示等工夫することで、更に入浴する楽しみが心待ちになれると思われる。	一月2回くらいの頻度で、温泉気分での入浴を提供する。	入浴室の暖簾の作成。(にしき園温泉)・入浴室の雰囲気づくりの為に掲示物。職員の言葉かけの統一。リスク管理等全職員が目的の把握が出来る様に話し合い取り組む。	12ヶ月
3	3	運営推進会議の中で、避難訓練を開催する事も良いのではないかと。その際家族や近隣者にも呼びかける事で有意義な訓練になるのではないかと。	1年に1回の計画を目標として、地域・消防署・運営推進会議の役員・家族などへ説明を行い協力お願いする。(最近の自然災害の状況の説明)	地域の皆様との合同の訓練が実施出来る様に、担当と地域の消防署と連携を図る。又、運営推進会議の中で、皆様の意見をお尋ねしながら、一人でも多くの方が参加出来る様な計画にしていく。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。